

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 薬局物価高騰対策交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 薬事献血係 電話番号：058-272-1111(内3432)

E-mail : c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,982 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	19,982	0	0	0	0	0	0	0	19,982
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

光熱費が高騰する中、収入の大半を調剤報酬（公定価格）により定められ、価格を調整できない薬局の負担軽減のため、光熱費高騰分にかかる経費を支援する。

(2) 事業内容

【交付額】17,300円

【交付要件】

- ・保険薬局であること。
- ・交付申請日において、廃業していないこと。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	18,165	事業者に対する交付金
委託料	1,817	交付金の申請受付・審査事務に係る経費
合計	19,982	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

複数の自治体で類似事業を実施

(2) 事業主体及びその妥当性

県内の医療体制の維持のために必要な支援のため、県負担は妥当

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

光熱費高騰の中においても県内の保険薬局が衛生的管理を確保しながら事業を継続することができること。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

緊急的に行う支援であり、指標設定等は困難。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	・薬局光熱費高騰対策交付金[令和4年12月補正予算] 光熱費の高騰分に係る経費を支援 (交付実績: 403事業者963薬局)
	指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %
令 和 5 年 度	・薬局光熱費高騰対策交付金[令和5年5月補正予算] 光熱費の高騰分に係る経費を支援 (交付実績: 697事業者1,736薬局)
	指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %
令 和 6 年 度	・薬局光熱費高騰対策交付金[令和6年当初予算] 光熱費の高騰分に係る経費を支援 (交付実績: 287事業者759薬局)
	指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	物価が高騰する中、収入の大半を調剤報酬（公定価格）により定められ、価格を調整できない薬局の負担を軽減することは、県内の医療体制の維持のために必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	支援金の交付により、薬局の負担の軽減が図られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	薬局に対する交付金とともに、交付金の申請受付・審査事務を外部委託することにより、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	